

- 2面 ・いつでも体験ボランティア
- 3面 ・新宿区徳行者表彰
・平成30年度事業計画及び予算について
・新宿区CSRネットワーク

- 4面 ・社協会費会員を募集しています
・寄附金・寄附物品のご報告
・会議報告

だれもが安心して暮らせる「新宿型福祉コミュニティ」の実現をめざして

新宿区社会福祉協議会が 成年後見人等になります。

成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない方の権利を守るための制度です。

新宿区社会福祉協議会(新宿社協)が法人として成年後見人等になります。新宿社協の中に担当職員を配置し、本人の意思を尊重しながら法律面や生活面でその方らしい生活を送れるようお手伝いをします。



具体的な お手伝い内容

- 福祉サービスなどの契約締結やその他手続きを行う
- 資産や収支状況を把握し、本人のために計画的な支出を行う
- 財産を安全に管理する

新宿社協が成年後見人等になるメリット

メリット①

【福祉の視点×地域との
つながり】を活かした
支援を行います。

メリット②

公共性が高く、
安心して成年後見制度を
ご利用になれます。

事業内容

<法定後見事業> 今、お手伝いが必要な方

家庭裁判所の審判に基づき、新宿社協が成年後見人等としてお手伝いします。

<任意後見事業> ご自身の将来の不安に備えたい方

新宿社協に依頼したい内容を決めて、任意後見契約を締結します。将来、判断能力が低下したときは、新宿社協が任意後見人としてお手伝いします。その際には家庭裁判所により任意後見監督人が選任されます。

※成年後見人等へは、報酬が発生します。



担当職員が訪問しお手伝いします(イメージ)

お気軽に
ご相談
ください。

任意後見事業説明会のご案内

新宿社協が任意後見人となる任意後見事業についてご説明します。ぜひ、説明会にお越しください。

日程 平成30年6月6日(水) 午前10時~

会場 新宿社協 地下1階会議室A
(新宿区高田馬場1-17-20)

対象 区内在住者もしくは、区内在住者の親族で事業に関心のある方

定員 40名

申込み方法

電話・FAX・Eメール・ハガキ・窓口のいずれか。①~④を明記の上、新宿社協までお申込みください。①氏名(ふりがな) ②「区内在住者」または「区内在住者の親族」の別を記載③電話番号またはFAX番号④説明会をお知りになったきっかけ
*申込み締切:平成30年5月31日(木)
*応募者多数の場合は、抽選となります。落選となった場合、お知らせします。

成年後見制度を知りたい方は 成年後見入門講座・出張相談会

日程 平成30年6月30日(土) 会場 落合第一地域センター 3階第1集会室A・B (新宿区下落合4-6-7)

対象 区内在住・在勤・在学の方

● 成年後見入門講座 ●

【時間】午後2時~4時
【講師】司法書士 吉田なつみ氏
【内容】成年後見制度の概要やかかる費用の目安など、成年後見人である司法書士が実際の活動の流れに沿ってわかりやすくお話しします。
【参加費】無料

● 出張相談会 ●

【時間】①午前11時30分~ ②午後0時30分~(弁護士)
③午後4時30分~ ④午後5時30分~(社会福祉士) ※相談時間は各45分
【内容】成年後見制度に関するご相談 ※プライバシーに配慮した個室で対応
【相談員】弁護士または社会福祉士
【相談料】無料
【定員】全4組(先着順・5月22日(火)から受付開始)

申込み方法

電話・FAX・Eメール・ハガキ・窓口のいずれか。①~⑤を明記の上、下記までお申込みください。〔相談会〕は電話・FAX・Eメール・窓口のいずれかでお申込みください。受付後事前に相談内容をお伺いします。①氏名(ふりがな) ②「区内在住」「在勤」「在学」の別を記載③電話番号またはFAX番号④申込み希望(講座・相談会) ⑤本講座・相談会をお知りになったきっかけ

要予約

問合せ・申込み先

新宿区社会福祉協議会 新宿区成年後見センター

〒169-0075 新宿区高田馬場1-17-20 TEL:03-5273-4522 FAX:03-5273-3082 e-mail:skc@shinjuku-shakyo.jp

やってみよう！みてもみよう！いつでも体験ボランティア

新宿ボランティア・市民活動センターでは、子どもや学生、働いている方や高齢の方、どなたでもボランティアを身近に感じ、気軽に活動に参加できるよう、「いつでも体験ボランティア」を実施しています。

平成29年度の活動メニューは、子どもの見守り、高齢者の話し相手、お祭りの手伝いなど、100を超えるさまざまな活動を紹介し、多くの方が新たなボランティア活動者として参加されました。

活動メニューは、社協ホームページから閲覧できます。

また、お子さんや学生さんが参加しやすい夏休み期間中の活動メニューは、6月中旬頃に掲載予定です。

みなさんも、ぜひボランティアへの第一歩を踏み出してみませんか。



「いつでも体験ボランティア」の流れ

- 1 活動メニュー表から希望の活動先を選びます。**
 - 2 電話でボランティア相談日を予約し、お越しください。**
ボランティア相談窓口は、4面の★印またはホームページでご確認ください。
 - 3 新宿ボランティア・市民活動センターが活動先と相談のうえ、活動日時等を調整します。**
 - 4 活動開始！**
 - ・安全に活動いただくために、ボランティア保険へ加入します。
 - ・活動先から活動の注意事項等をお伝えするオリエンテーションがあります。
 - ・状況によって、初回活動時には社協職員が同行します。
- ・ボランティア相談では、具体的な活動希望をお聞きし、活動の心構えや注意事項などのお話をします。所要時間は30～60分程度です。
・活動登録書・誓約書にご記入いただきます。

1 特技（手話・障害者スポーツ）を活かしたボランティア

①活動概要

デイサービスセンター神楽坂は、地下鉄東西線の神楽坂駅の目の前に位置した、高齢者が日中過ごせる施設です。

白崎さんは、視覚障害をお持ちの大学生です。今回は、話し相手やレクリエーション体験をとおして、高齢者と交流しました。



②白崎さんに聞きました

体験のきっかけは？

大学の課題がきっかけでした。色々な方と触れ合いたい、という思いがあったため、高齢者や障害者の施設、子育てサロンなど様々な分野でボランティアを行いました。

体験の感想から

初めはとても緊張しましたが、利用者のみなさんが優しく話しかけてくださったので緊張もほぐれ、楽しく活動ができました。

視覚障害を活かしたスポーツ「サウンドテーブルテニス (STT)」の経験や、手話サークルで手話を学んでいることをお話ししたところ、STTの体験会や手話の即席講師など、自分自身の特技を活かして高齢者と交流することができました。

これから体験する方へメッセージ

ボランティアの一步がなかなか踏み出せない方も多いかと思いますが、ボランティアは、普段は体験できないような経験や新たな出会いにつながります。ボランティアのきっかけがあったら、ぜひ一步を踏み出してみてください。

③受入施設からのメッセージ（デイサービスセンター神楽坂）

デイサービスに通われている方は、とても元気な方が多いです。

「何かできなくて・・・」ではなく、一緒にいて同じものを見て、楽しい時間を過ごしていただくと嬉しいです。

ぜひ、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

2 戸山地区高校生徒会連盟によるボランティア

①活動概要

海城高校・保善高校・戸山高校は新宿区中央部にあり、日頃から各校生徒会代表が交流・連携しています。今回は各生徒会で連携し、学校近隣で地域活動するという目的のもと、生徒会代表1、2年生6名が保育園の2～5歳児のクラスで体験ボランティアに参加しました。

②生徒さんに聞きました

体験のきっかけは？

普段の生活で接する機会が少ない子どもと交流ができればと、保育園での子どもの遊び相手ボランティアを選びました。

体験の感想から

身近に子どもがおらず不安だったが、子どもたちから一緒に遊ぼうと言ってもらい、遊びをとおして楽しく活動できました。

指遊びやはさみ将棋などを子どもに教わり、本気で対戦しました。帰り際「明日も来るの?」と聞かれ、嬉しかったです。

これから体験する方へメッセージ

ボランティアはあまり構えず、自分自身が楽しめればよい活動になると思います。今回の体験を活かして生徒会で広報活動をし、夏休みには各校からさまざまなボランティアに挑戦してもらいたいです。

③受入施設からのメッセージ（にじいろ保育園高田馬場東）

2日間でしたが生徒さん達に楽しく活動してもらいました。今回の体験を各学校で報告していただき、夏の体験ボランティアで多くの生徒さんに参加してもらいたいです。



3 いくつになってもボランティア

①活動概要

鈴木さんは、これから自らもたどる姿を知ること、心構えをし、できる準備をしておきたいと、図書館や区役所で配架物に目を通すようにしていました。それが社協主催のボランティア入門講座を知るきっかけとなりました。講座受講後、高齢者施設（デイサービス）2か所で活動しました。



②鈴木さんに聞きました

体験のきっかけは？

講座を受講し、特技がないからできないのではないかと、時間の制約もありそうだと思っていたボランティアのイメージが変わりました。具体的な活動内容を聞き、これなら自分にもできそうと思いました。また、自分の都合にあわせて活動して良いこともわかりました。

体験の感想から

高齢者施設での活動をとおして、認知症の方とも上手におつきあいができる体験ができました。小規模でアットホームな施設も、大規模な施設も、職員の方が明るく利用者の方に気を配っていることがよくわかりました。その後、施設での活動とあわせて、個人の方を支援する活動（ちょこっと・暮らしのサポート事業、地域見守り協力員事業）も始めました。おしゃべりを楽しみに待っていてくださることが嬉しいです。

これから体験する方へメッセージ

自分ができる範囲のことで、人に喜んでもらえるのは幸せなことです。自分のために楽しみましょう。まずは気軽にボランティア活動を始めてみてください。

③受入施設からのメッセージ（デイサービスオンリーワン）

ボランティア活動をしていただく場の提供ができる幸せを感じています。活動終了後も、気軽に遊びに来ていただける場になりたいと思っています。

新宿区の徳行者(社会奉仕活動) 表彰を受けました

新宿区では毎年、社会奉仕活動などの模範となる善行のあった方を徳行者として、表彰しています。

平成29年度は、4名の新宿社協登録ボランティアの方が表彰されました。

畠山 仁子さん

平成2年より、ちよこつと・暮らしのサポート事業の協力員として、高齢者などへの家事援助活動や介護活動に取り組み、現在は高齢者施設でのボランティア活動に取り組んでいます。

吉江 淑子さん

平成2年より、ちよこつと・暮らしのサポート事業の協力員として、高齢者などへの家事援助活動や介護活動、配食活動に取り組み、現在も家事援助活動や高齢者の見守り声かけ活動に取り組んでいます。

日比野 節子さん

平成5年より、ちよこつと・暮らしのサポート事業の協力員として、視覚障害者宅での家事援助活動に継続して取り組んでいます。

須賀井 憲子さん

平成9年より、ふれあい福祉事業の相談員として地域住民の相談を受け止め、平成15年より地域福祉権利擁護事業の生活支援員、22年より市民後見人として、判断能力の不十分な方への支援に取り組んでいます。

新宿社協の事業は、今回表彰された方以外にも、多くのボランティアの方々に支えられています。今後も皆さんと一緒に地域での支え合い活動を推進していきます。

平成30年度事業計画及び予算について

平成30年度予算

(単位：千円)

拠点区分	予算額
地域福祉推進事業	509,653
応急小口資金貸付事業	19,421
共同募金運動事業	6,061
収益事業	541
合計	535,676

基本方針

平成30年度は、第3次経営計画(平成26年度～30年度)の最終年度にあたる総仕上げの年度として、計画の検証を行うとともに、平成31年度からの次期経営計画の策定に向けて、5年後の新宿を見据えた検討などをすすめるほか、下記のような事業に重点的に取り組んでまいります。

重点事業

法人後見事業(新規事業)

本会が成年後見人等となる事業で、超高齢社会の到来により増加が見込まれる判断能力が不十分な方だけでなく、後見人期間が長期にわたる場合の多い障害者の権利を守る事業としても期待されています。実施にあたっては新宿社協という法人の信頼性、安定性、継続性を活かし、すべての区民が安心して後見制度を利用できるよう努力してまいります。

低所得者世帯への支援

既存の独自貸付事業に柔軟性を持たせ、貸付を必要とされる方に十分な支援がなされるよう対応を図り、その抱える複合的な生活課題の解決に向けた総合的・継続的な支援を新宿区や関係機関などと連携して行います。

災害への備え

引き続き、大規模災害発生時に区が立ち上げる「災害ボランティアセンター」の運営支援を的確に行えるよう、訓練や災害ボランティアの育成に力を注いでまいります。

会員(活動会員・会費会員)の増強

運営の根幹である会員の増強を図るとともに、新宿社協65周年の年であることから、10月に会員感謝のつどいを開催し、会員へ感謝の気持ちを顕すとともに、会員間の交流を図ります。

社協部会の運営

「高齢者の生活を地域全体で支える取り組みの実践及び継続について」をテーマに、平成29年度に各地区の社協部会からいただいた提言の具現化を目指してまいります。

公益的な取り組みへの支援

新宿区内の社会福祉法人が相互に情報交換を行い、連携して社会貢献事業に取り組むことで安心して暮らせる地域づくりの推進に寄与することを目的とし、区内社会福祉法人連絡会が正式に発足しました。平成30年度は、この連絡会の充実が図れるよう事務局として支援していきます。

社会貢献活動に取り組む

「新宿CSRネットワーク」

新宿CSRネットワークは新宿区内を中心にボランティア・社会貢献活動に取り組んでいる26社の企業で構成されて活動しています。今後毎月2社ずつ、各企業が実施している新宿区の特徴を活かした社会貢献活動についてご紹介します。

CSR…企業の社会的責任(corporate social responsibility)の略称

京王プラザホテル

京王プラザホテルは「国籍・立場・年齢・障害の有無を問わず、あらゆる人が集う広場<プラザ>である」という「プラザ思想」を企業理念として掲げ、1971年に開業いたしました。これまで障害のあるお客様への対応として、ユニバーサルルームの新設などハード面の整備や、手話・車椅子対応の従業員教育などソフト面の強化に取り組んでまいりました。

現在は<バーズアイ>という社内チームが中心となり社会貢献活動を推進しています。そのチームが実施しているチャリティーイベント「ボランティア・プラザ」は昨年で14回となり、イベントで集まった収益金は毎回福祉関係の団体に寄附しています。これからも多くのお客様にご支持いただけるホテルとして、社会貢献活動への取り組みを進めてまいります。

新宿CSRネットワークの活動は新宿区内の他企業の皆さんとの情報交換・親睦を通じ、自社の社会貢献活動の幅を広げる良い機会となっています。さらにネットワークが広がるよう多くの皆さんが新宿CSRネットワークに参加されることをお待ちしております。



株式会社 大気社

大気社は西新宿に本社を構え、グローバルに事業を展開している総合エンジニアリング企業です。

ビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調システム事業と、工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調システム事業、そして自動車などの塗装プラントの設計・施工を行う塗装システム事業の3つの分野で事業を展開しています。

「さらなる低炭素社会」が望まれる今、私たちは当社が提供する設備やシステムからのCO₂排出量の低減を図るとともに、排気・廃水処理技術を向上させ、環境汚染防止に貢献していくことが使命であると考えています。

また、当社では、地域・社会を重要なステークホルダーの一つと位置付け、地域・社会貢献活動への参加を積極的に推進しています。本社がある新宿区においては、2011年から新宿CSRネットワークに加盟し、地域活動に参加しています。

引き続き、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



年 1,000 円からの地域福祉貢献!

社協会費会員を募集しています!

NEW!

平成30年度 社協会費会員証

社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会
SHINJUKU social welfare conference
連絡先: 03-5273-2941

会員証を発行します



会員募集のチラシをつけて区内を走っています

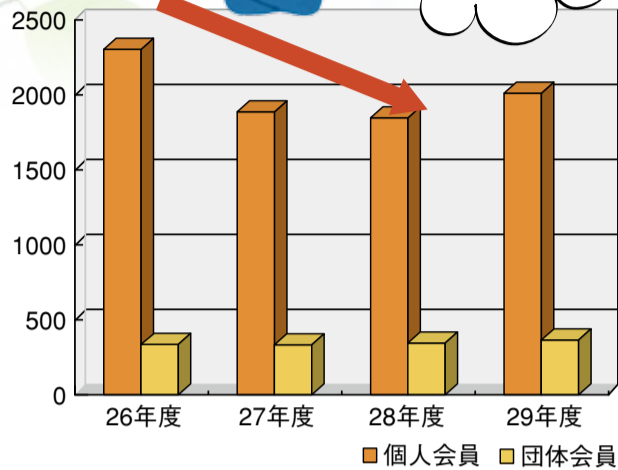
会員は、地域の皆さんと協働して、高齢者、障害者、子どもたちなど、だれもが安心して暮らせる地域づくりを目指している新宿社協の活動を支える基盤をなすものです。

しかし、会員数は左図のように近年、減少傾向となっています。そこで、ともに地域福祉の推進にご賛同いただける会員を増やしていくため、平成30年度から会員証を発行し、会員の皆さんとともに地域福祉を進めていることを目に見えるかたちにします。また、平成30年6月1日～6月30日に「**会員募集キャンペーン**」を行い、新たに新宿社協とともに地域福祉を進めてくださる会員を増やせるよう、個人・団体の方へ呼びかけを行います。

あなたも、年1,000円からの地域福祉貢献で新宿社協を応援してください。

問合せ先 法人経営課 03-5273-2941

会員数の推移



会費はどこに行くの?

けがをして一時的に車椅子を借りたい 車椅子の貸し出しに使われています	初めての子育てが不安で他のママたちのお話を聞いてみたい 子育てサロン等の活動を支えます	ボランティアを頼みたい、ボランティアをしたい 6か所のコーナーと東分室の相談窓口で紹介しています	高齢のため電球交換などの日常生活の困りごとを誰かに頼みたい ちょこっと・暮らしのサポート事業を運営しています
---------------------------------------	--	---	---

会員募集中

個人会員	1口1,000円	1口以上
団体会員	1口1,000円	3口以上

新宿社協バス

心のごもったご寄附

寄附物品【敬称略】

寄附者芳名 (平成30年3月31日までの受付分)

月区分	寄附者名	住所	寄附物品
2	協同組合新宿専門店会婦人会	新宿区新宿	車椅子 20台・タオル等日用品多数
2	学習院女子短期大学 学習院大学草上会	新宿区戸山	車椅子 3台・ふきん 200枚
	公益財団法人 新宿法人会	新宿区北新宿	使用済み切手 多数
3	公益財団法人 報知社会福祉事業団	港区港南	端唄鑑賞会チケット 30枚
2-3	佐々木 松子	新宿区北新宿	ゴム手袋・ビニールエプロン他多数

寄附金【敬称略】

(単位:円)

(単位:円)

月区分	寄附者名	住所	寄附金額
2	「新宿 朝・日友好親善新春の集い」実行委員会	新宿区歌舞伎町	50,000
2	公益社団法人 新宿区シルバー人材センター 会長 吉良 宮子	新宿区新宿	221,200
	細木 澄子	新宿区高田馬場	8,000
3	東京福祉マッサージ	中野区若宮	3,000

他にもおむつ類やタオル・お米などをご寄附いただき、地域の方々に活用いただいております。その他、未使用の物品などがありましたら、新宿社協高田馬場事務所までご相談ください。

合計 1,059,040

会議報告

平成30年3月に、平成29年度第4回理事会(3/19)及び平成29年度第3回評議員会(3/26)を開催しました。

決議事項… 「平成29年度地域福祉推進事業資金収支予算(補正第2号)」 「常務理事の選定について」(理事会のみ)
 「平成30年度事業計画及び資金収支予算について」 「評議員選任委員会委員の選任について」(理事会のみ)
 「平成29年度第3回評議員会の招集について」(理事会のみ) 「理事の選任について」(評議員会のみ)

報告事項… 「社会福祉法人新宿区社会福祉協議会定款の一部変更認可報告について」 ほか6件

新宿区社会福祉協議会 ご案内

高田馬場事務所

〒169-0075 新宿区高田馬場 1-17-20 TEL:03-5273-2941 FAX:03-5273-3082

2F	法人経営課	TEL 03-5273-2941
	貸付事業担当	TEL 03-5273-3541
	受験生チャレンジ支援貸付事業担当	TEL 03-5292-3250
	★地域活動支援課(新宿ボランティア・市民活動センター)★	TEL 03-5273-9191
	ファミリー・サポート・センター	TEL 03-5273-3545
新宿区成年後見センター		TEL 03-5273-4522
地域福祉権利擁護事業担当		TEL 03-5273-4523
※地域活動支援課: 月～土曜日(祝日除く) 午前8時30分～午後5時(火曜日は午後7時まで)		
1F	【開所時間】月～土曜日 午前10時～午後9時	視覚障害者交流コーナー TEL 03-6233-9555
		聴覚障害者交流コーナー TEL 03-6457-6100

★東分室

〒160-0008 新宿区三栄町25番地 TEL:03-3359-0051・FAX:03-3359-0012

【開所時間】月～金曜日 午前8時30分～午後5時 ※土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く

★ボランティア・地域活動サポートコーナー

【開所時間】月～金曜日 午前10時～午後5時(正午～午後1時は休み)

四谷	ボランティア・地域活動サポートコーナー (新宿区内藤町87 四谷特別出張所内)	TEL・FAX 03-3359-9363
牛込	ボランティア・地域活動サポートコーナー (新宿区単馬町15 単馬町特別出張所内)	TEL・FAX 03-3260-9001
若松町	ボランティア・地域活動サポートコーナー (新宿区若松町12-6 若松町特別出張所内)	TEL・FAX 03-6380-2204
大久保	ボランティア・地域活動サポートコーナー (新宿区大久保2-12-7 大久保特別出張所内)	TEL・FAX 03-3209-8851
落合	ボランティア・地域活動サポートコーナー (新宿区下落合4-6-7 落合第一出張所内)	TEL・FAX 03-5996-9363
淀橋	ボランティア・地域活動サポートコーナー (新宿区北新宿2-3-7 柏木特別出張所内)	TEL・FAX 03-3363-3723

★新宿社協では視覚障害のある方のために、本誌の『CD』をお貸ししています。ボランティア団体「ぐるーが・カナリヤ」さんのご好意によるものです。どうぞご利用ください。